

上級アドヴァンスト・コース 募集要項

41 オペラ・ソリスト・コース

教育目標 歌唱能力のみならずオペラ歌手に必要な舞台表現技術を身につけ、多数のオペラの配役を演じられるように、オペラ歌手となるための基本的な知識や能力を養う。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	オペラ特別演習Ⅴ	A	2				16	
	オペラ特別演習Ⅵ	A		2				
	オペラ特別演習Ⅶ	A			2			
	オペラ特別演習Ⅷ	A				2		
	声楽特別演習Ⅴ	A	2					
	声楽特別演習Ⅵ	A		2				
	声楽特別演習Ⅶ	A			2			
	声楽特別演習Ⅷ	A				2		
コ ー ス 推 奨	レパートリー研究Ⅰ	B	2				イタリア語、ドイツ語はⅣまで、フランス語はⅡまで未履修者	
	レパートリー研究Ⅱ	B		2				
	レパートリー研究Ⅲ	B			2			
	レパートリー研究Ⅳ	B				2		
	オペラ史A	C	2					
	オペラ史B	C	2					
	声楽実技AⅤ	B	1					
	声楽実技AⅥ	B		1				
	声楽実技AⅦ	B			1			
	声楽実技AⅧ	B				1		
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクシオン	B	2	2	2	2		
	身体表現A	B	1					
	身体表現B	B	1					
	身体表現C	B			1			
	身体表現D	B			1			
	合唱Ⅴ	C	2					
	合唱Ⅵ	C		2				
	宗教入門A	C	2					
	宗教入門B	C	2					
	西洋宗教史A	C	2					
	西洋宗教史B	C	2					

修了認定基準 「オペラ特別演習Ⅷ」の評価A以上

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

出願期間 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口 directly 納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10, 000円

試験科目及び課題曲 声楽演奏試験
オペラのアリア2曲(モーツァルトのアリアを含むこと)
原語・原調を原則とする。途中で切ることがある。

※アルトでモーツァルトの適当なオペラのアリアがない場合は、グルック作曲のオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」よりオルフェオのアリアでもよい。

※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。それ以外の受験者はこの限りではない。

試験日 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

合格発表 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。
また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

上級アドヴァンスト・コース 募集要項

42 歌曲ソリスト・コース

教育目標 歌曲やオラトリオを歌うために必要な技術はもちろんのこと、詩の解釈、ことばへの豊かな感性を磨き、演奏家となるためのより高度な技術、知識や能力を養う。

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

授業科目	履修費 ランク	セメスター				修得 単 位 最 低 数	備考
		第1	第2	第3	第4		
コース 必修	声楽特別演習Ⅴ	A	2			8	
	声楽特別演習Ⅵ	A		2			
	声楽特別演習Ⅶ	A			2		
	声楽特別演習Ⅷ	A					
コース 推奨	歌曲作品研究A	B	2			}	1セメスターに1科目のみ履修
	歌曲作品研究B	B	2				
	歌曲作品研究C	B	2				
	歌曲作品研究D	B	2				
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅰ	B	2				
	アンサンブル(歌曲・オラトリオ)演習Ⅱ	B		2			
	宗教音楽史A	C	2				
	宗教音楽史B	C	2				
	歌曲史A	C	2				
	歌曲史B	C	2				
	声楽実技AⅤ	B	1				
	声楽実技AⅥ	B		1			
	声楽実技AⅦ	B			1		
	声楽実技AⅧ	B					
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクシオン	B	2	2	2		イタリア語、ドイツ語はⅣまで、フランス語はⅡまで未履修者
	身体表現A	B	1				
	身体表現B	B	1				
	身体表現C	B			1		
	身体表現D	B			1		
	合唱Ⅴ	C	2				
	合唱Ⅵ	C		2			
	宗教入門A	C	2				
	宗教入門B	C	2				
	西洋宗教史A	C	2				
	西洋宗教史B	C	2				

修了認定基準 「声楽特別演習Ⅷ」の評価A以上

出願期間 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口へ直接納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課へ直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目及び課題曲 声楽演奏試験
ミサ、オラトリオ、カンタータ等の独唱曲1曲および歌曲1曲を原語で歌うこと。曲間を含めて8分以内。途中で切ることがある。

※受験者が本学学部4年生の場合、伴奏者は本学在学生及び、アドヴァンスト・コース生に限る。それ以外の受験者はこの限りではない。

試験日 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

合格発表 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

上級アドヴァンスト・コース 募集要項

43 鍵盤楽器ソリスト・コース

教育目標 鍵盤楽器ソリスト・コース修了者、又は同等の実力のある者が更に研鑽を積み、深く音楽を追求してレパートリーの拡大を目指す。

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

授 業 科 目	履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 数 低	備 考
		第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	ピアノ特別演習Ⅴ	A	2			8	
	ピアノ特別演習Ⅵ	A		2			
	ピアノ特別演習Ⅶ	A			2		
	ピアノ特別演習Ⅷ	A					
コ ー ス 推 奨	作曲家と作品分析Ⅰ	B	2				
	作曲家と作品分析Ⅱ	B		2			
	作曲家と作品分析Ⅲ	B			2		
	作曲家と作品分析Ⅳ	B					
	鍵盤音楽史A	C	2				
	鍵盤音楽史B	C	2				
	ピアノ実技AⅤ	B	1				
	ピアノ実技AⅥ	B		1			
	ピアノ実技AⅦ	B			1		
	ピアノ実技AⅧ	B					
	鍵盤楽器作品分析Ⅰ	B	2				
	鍵盤楽器作品分析Ⅱ	B		2			
	現代音楽入門Ⅰ	B	2				
	現代音楽入門Ⅱ	B		2			
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅰ	B	2				
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅱ	B		2			
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅲ	B			2		
	ピアノコンチェルト・アンサンブル演習Ⅳ	B					

修了認定基準 「ピアノ特別演習Ⅷ」の評価A以上

出願期間 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口 directly 納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10, 000円

試験科目及び課題曲 ピアノ演奏試験
下記の各グループより選曲し、実際の演奏時間が35分以上となるプログラムを提出する。ただし(1)あるいは(2)のみのプログラムは不可。

- (1)ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の一曲(全楽章)
(2)上記以外の作曲家による任意の作品(同一の作曲家による複数の作品、あるいは複数の作曲家の作品の組み合わせも可。ただし、出版されているものに限る。また、内部奏法等を含んだ作品は除く。)
(注) 1. 演奏は暗譜とする。
2. 繰り返しの有無は各自の自由とする。
3. 時間の都合によりカットすることがある。

試験日 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

合格発表 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

上級アドヴァンスト・コース 募集要項

44 アンサンブル・ピアノ・コース

教育目標 アンサンブル奏者としての経験と知識を増やし、豊かな表現力を身につける。

募集人数 若干名

出願資格 原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 コ ー ス 単 位 最 数 低	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	アンサンブル特別レッスンⅠ	B	2				8	
	アンサンブル特別レッスンⅡ	B		2				
	アンサンブル特別レッスンⅢ	B			2			
	アンサンブル特別レッスンⅣ	B				2		
コ ー ス 推 奨	アンサンブル演習Ⅰ	A	2					
	アンサンブル演習Ⅱ	A		2				
	アンサンブル演習Ⅲ	A			2			
	アンサンブル演習Ⅳ	A				2		
	ピアノ実技AⅤ	B	1					
	ピアノ実技AⅥ	B		1				
	ピアノ実技AⅦ	B			1			
	ピアノ実技AⅧ	B				1		
	室内楽作品研究A	B	2					
	室内楽作品研究B	B	2					
	管楽器作品研究	B	2					
	弦楽器作品研究	B	2					
	歌曲作品研究A	B	2					
	歌曲作品研究B	B	2					
	歌曲作品研究C	B	2					
	歌曲作品研究D	B	2					
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクシヨンⅠ	B	2					
	イタリア語/ドイツ語/フランス語ディクシヨンⅡ	B		2				
	選択ソルフェージュEⅠ	B	1					
	選択ソルフェージュEⅡ	B		1				
	管弦楽法CⅠ	B	1					
	管弦楽法CⅡ	B		1				

修了認定基準 「アンサンブル特別レッスンⅣ」の評価A以上

出願期間 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口 directly 納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類 1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10, 000円

試験科目及び課題曲 (1) 器楽または声楽との共演による演奏試験(共演者を同伴すること)
自由曲 10分程度
(2) アンサンブル・ピアノ・コース単願者のみ、ソロ自由曲6分～12分程度の演奏試験(他の鍵盤楽器コース併願者は免除とする)

試験日 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

合格発表 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。
また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

45 弦管打楽器ソリスト・コース

募集人数	若干名
出願資格	原則として、学士の学位を有する者又は取得見込の者。

授 業 科 目		履修費 ランク	セメスター				修 得 単 位 最 低 数	備 考
			第 1	第 2	第 3	第 4		
コ ー ス 必 修	弦管打特別演習 V	A	2				8	
	弦管打特別演習 VI	A		2				
	弦管打特別演習 VII	A			2			
	弦管打特別演習 VIII	A				2		
コ ー ス 推 奨	管弦楽 A	B	2				}	管打は選抜者のみ
	管弦楽 B	B		2				
	管弦楽 C	B			2			
	管弦楽 D	B				2		
	管弦楽特別演習 A	B	2				}	履修を許可された者のみ履修可
	管弦楽特別演習 B	B		2				
	管弦楽特別演習 C	B			2			
	管弦楽特別演習 D	B				2		
	吹奏楽 A	B	2				}	管打、コントラバス、ハーブ履修可
	吹奏楽 B	B		2				
	吹奏楽 C	B			2			
	吹奏楽 D	B				2		
	室内楽史 A	C	2				}	弦のみ履修可
	室内楽史 B	C	2					
	管弦楽史 A	C	2					
	管弦楽史 B	C	2					
	室内楽 A	B	2					
	室内楽 B	B		2				
	室内楽 C	B			2			
	室内楽 D	B				2		
	弦管打実技 A V	B	1					
	弦管打実技 A VI	B		1				
	弦管打実技 A VII	B			1			
	弦管打実技 A VIII	B				1		
	管弦楽法 B I	B	1					
	管弦楽法 B II	B		1				
	室内楽作品研究 A	B	2					
	室内楽作品研究 B	B	2					
	管楽器作品研究	B	2					
	弦楽器作品研究	B	2					
	上級アンサンブル A	B	2					
	上級アンサンブル B	B		2				
上級アンサンブル C	B			2				
上級アンサンブル D	B				2			
オーケストラ・スタディ I	B	2						
オーケストラ・スタディ II	B		2					
オーケストラ・スタディ III	B			2				
オーケストラ・スタディ IV	B				2			

修了認定基準 「弦管打特別演習Ⅶ」の評価A以上

出願期間 平成28年10月3日(月)～10月6日(木)9:00～16:30

出願手続 出願料を経理課窓口 directly 納入し、願書に納入印を受けた後、出願書類を教務課に直接提出すること。本学在学生以外で郵送による出願をする場合は、出願料(10,000円の郵便為替)と受験票返送料(120円切手)を添えて、出願書類一式を簡易書留で教務課宛に送ること。[上記出願期間内に必着のこと]

出願書類

1. アドヴァンスト・コース選抜試験願書(A)、受験票(B)
2. 写真2枚 3×3cm
3. 卒業証明書又は卒業見込証明書(本学学部卒業見込の者は不要)

出願料 10,000円

試験科目 弦管打演奏試験
及び 別記「課題曲一覧表」参照
課題曲

試験日 11月7日(月)～11月23日(水)の期間内

合格発表 11月29日(火) 10:00 教務課掲示板
ただし、卒業見込みの者が卒業できなかった場合には、合格を取消す。

合格後の手続 合格者は、手続要項に従って決められた期日までに手続書類を提出する。また、4月のオリエンテーション期間中に、コースごとの説明会が開かれるので、必ず出席すること。

<課題曲一覧表>

5. 弦管打楽器ソリスト・コース

- ・伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は応募者が同伴すること。
- ・楽章の指定のないものは、その曲の全楽章を演奏すること。但し、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断することもある。

【ヴァイオリン】

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

※ 平成28年度国立音楽大学卒業見込者は、卒業試験曲目と重複しないこと。

[A群]

J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番より フーガ

J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番より フーガ

J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番より シャコンヌ

[B群]

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61より 第1楽章
(ヨアヒム又はクライスラーのカデンツァ)

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77より 第1楽章
(ヨアヒムのカデンツァ)

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35より 第1楽章

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47より 第1楽章

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番より 第1楽章

【ヴィオラ】

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品120-1

(2) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品120-2

(3) ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ ヘ調 作品11-4

【チェロ】

A、B群からそれぞれ任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

[A群]

J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第2番～第6番より 任意のプレリュード

[B群]

ハイドン：チェロ協奏曲 第1番 ハ長調より 第1楽章

ハイドン：チェロ協奏曲 第2番 ニ長調 作品101より 第1楽章

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104より 第1楽章

シューマン：チェロ協奏曲 イ短調 作品129より 第1楽章

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品85より 第1・2楽章

【コントラバス】

下記の3曲から任意の1曲を選び、暗譜で演奏する。

(1) クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲

(2) ヴァンハル：コントラバス協奏曲 ニ長調

(3) ディッターズドルフ：コントラバス協奏曲 ホ長調

【ハープ】

(1)を1曲及び(2)より1曲の計2曲を暗譜で演奏する。

(1) 5分程度の古典曲 (C.P.E バッハ作曲『ソナタ』の1楽章、ヘンデル作曲『協奏曲』の1楽章、J.S. バッハ作品のルニエ編あるいはグランジャニー編等)

(2) ①フォーレ：アンプロンプチュ

②サルツェード：古代様式の主題による変奏

③ルニエ：レジェンド

④ダマーズ：シチリア変奏

⑤ヒンデミット：ソナタ

⑥グランジャニー：ラプソディー

【フルート】

(A) (B) (C) の 3 曲を暗譜で演奏する。(曲目の演奏順は自由)

(A) 次の課題曲 (1) ～ (7) から 1 曲を選択して演奏する。

(1) E.ボザ : Image

(2) J.イベール : Pièce

(3) P.O.フェルー : Trois Pieces-III

(4) S.カルク-エラート : 30 Studies Op.107 No.30 Chaconne

(5) S.カルク-エラート : Sonata (Appassionata) fis-moll Op.140

(6) N.パガニーニ : 24 Caprices Op.1-24

(7) J.リヴィエ : Oiseaux Tendres

(B) T.ベーム、J.ドゥメルスマン、F.ドップラー、M.A.ライヒェルト、P.タファネルのうちから伴奏付きの作品を 1 曲自由選択

(C) 上記 (A) (B) の作曲家以外の自由曲 1 曲 (但し、ピアノ伴奏付きの曲)

【オーボエ】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

モーツァルト : オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314

【クラリネット】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の 1 曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツァルト : クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622

(2) ドビュッシー : クラリネットのための第一狂詩曲

【サクソフォーン】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

グラズノフ : サクソフォーン協奏曲

【ファゴット】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の 1 曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツァルト : ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191

(2) ウェーバー : ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品 75

【ホルン】

次の課題曲 (1)、(2)、(3) のうち任意の 1 曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

(1) モーツァルト : ホルン協奏曲 第 2 番 変ホ長調 K.417

(2) R.シュトラウス : ホルン協奏曲第 1 番 変ホ長調

(3) ノイリンク : バガテル

【トランペット】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

J.ハイドン : トランペット協奏曲 変ホ長調

【トロンボーン】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

テナートロンボーンの場合

トマジ : 協奏曲 第 1 楽章

バストロンボーンの場合

ギリングム : ソナタ 第 1 楽章

【ユーフォニアム】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

J.ホロヴィッツ : 協奏曲 (Novello)

【チューバ】

次の課題曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

R.ヴォーン・ウィリアムズ : チューバ協奏曲 (Oxford University Press)

【打楽器】

次の課題曲 (1)、(2) のうち任意の 1 曲と自由曲 (無伴奏曲も可) の 2 曲を暗譜で演奏する。

(1) ジョリヴェ : 打楽器とオーケストラのための協奏曲

(2) 次の①②を両方演奏する。

①クレストン : マリンバとオーケストラのための協奏曲

②デルクルーズ：12のエチュード（小太鼓のための）

＊②は1～4の中から当日1曲指定。

＊②に限り暗譜は任意とする。